渡航受診者の受入れに 関するMEJの取組み

一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 業務執行理事 北野 選也

Medical Excellence JAPAN(MEJ) の役割

本日のご説明

- 1. Medical Excellence JAPAN (MEJ) の役割
- 2. Japan International Hospitals (JIH) の推奨事業
- 3. 認証医療渡航支援企業(AMTAC)の認証事業
- 4. 渡航受診者受入れに関する今後の取組み

2

国策としての医療国際展開

「日本再興戦略」(抜粋) (平成25年6月14日閣議決定)

医療の国際展開

一般社団法人メディカル・エクセレンス・ジャパン(MEJ)を 活用し、官民一体となって、日本の医療技術・サービスの国際 展開を推進する。

(略)

外国人が安心して医療サービスを受けられる環境整備等に 係る諸施策も着実に推進する。

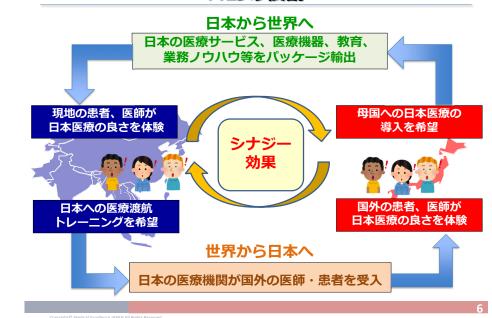
Medical Excellence JAPAN

MEJ は2011年に設立され、2013年に日本政府の成長戦略に基づいて 新生MEJとして改組された。



5

MEJの役割

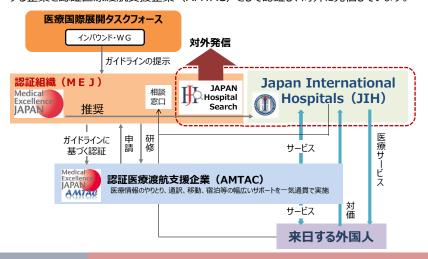


外国人患者受入医療機関リストの整理



渡航医療受診者受入医療機関の推奨と医療渡航支援企業の認証

MEJは、渡航医療受診者の受入れに意欲と能力のある国内医療機関をJapan International Hospitals (JIH) として推奨し、受診者受入れ等を一気通貫でサポートする企業を認証医療渡航支援企業(AMTAC)として認証し、海外に発信しています。



. {

Japan International Hospitals (JIH) の推奨事業

opyright© Medical Excellence JAPAN All Rights Reserved.

Japan International Hospitals (JIH)

45施設(2018年8月末現在) ①北斗病院 24虎の門病院 ②仙台厚生病院 23相澤病院 ③総合南東北病院 26総合病院 聖隷浜松病院 4) 足利赤十字病院 ②藤田医科大学病院 28大阪大学医学部附属病院 29兵庫県立粒子線医療センター ⑦亀田メディカルセンター 30福岡記念病院 ⑧国立がん研究センター東病院 3)福岡山王病院 9日本医科大学千葉北総病院 32福岡県済生会福岡総合病院 ⑩国立国際医療研究センター病院 33長崎大学病院 ⑭国立がん研究センター中央病院 ③山形大学医学部附属病院 ⑤NTT東日本関東病院 39津山中央病院 @岡山旭東病院 ⑱聖路加国際病院 ⑩がん研究会有明病院 @古賀病院21 ②国立成育医療研究センター病院 43新古賀病院 ②東京大学医学部附属病院 44埼玉医科大学国際医療センタ・ ②東京都済生会中央病院 JAPAN Hospital Search 45済生会横浜市東部病院

http://www.japanhospitalsearch.org/

Japan International Hospitals (JIH)公募概要

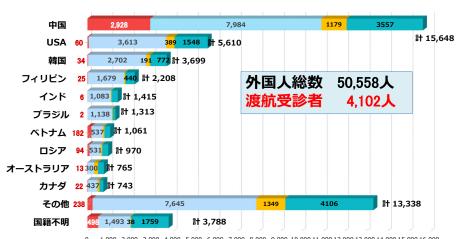
国民への医療提供体制の維持と向上とを前提として、渡航受診者を受入れる組織的な意欲があり、組織的な取組みにより渡航受診者を受入れる「病院」を対象とする。

- 対象の医療機関は「病院」とし、<u>渡航受診者を受入れ可能な「診療科」を推奨</u> の単位とする。 複数の診療科を選定することもできる。
- 海外へ紹介する医療は、**日本の健康保険診療、保険診療と併用できる先進医療の範囲の診療、および健診・検診**とする。
- 受入れ可能な診療科では、**専門医が複数名が常時従事し、**渡航受診者の診療を行うものとする。
- 原則、診療は、年間10人以上の渡航受診者の受入実績を有するものとする。
- 有識者で構成する<u>評価委員会</u>において、調査員(医療系と事務系各1名)が 実施する書面および訪問による調査結果を踏まえ、<u>推奨の可否を総合的に判定</u> する。
- 推奨は3年間で更新制とする。
- 推奨後、海外への情報発信を実施する。 www.japanhospitalsearch.org

10

JIHにおける外国人受診者 上位10か国

(2017年度上半期:35病院分、2017年度下半期:41病院分)



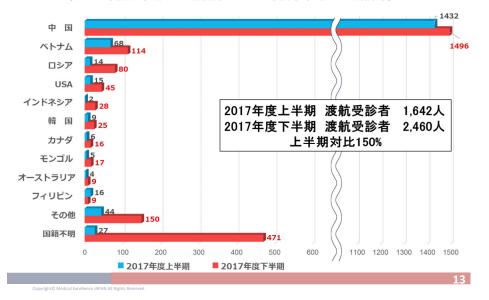
 $0 \\ 1,000 \\ 2,000 \\ 3,000 \\ 4,000 \\ 5,000 \\ 6,000 \\ 7,000 \\ 8,000 \\ 9,000 \\ 10,000 \\ 11,000 \\ 12,000 \\ 13,000 \\ 14,000 \\ 15,000 \\ 16,000 \\ 16,000 \\ 16,000 \\ 10,000$

■ 渡航受診者 ■ 在留外国人 ■ 訪日外国人 ■ 不明

11

渡航受診者の上位10か国 上半期・下半期比較

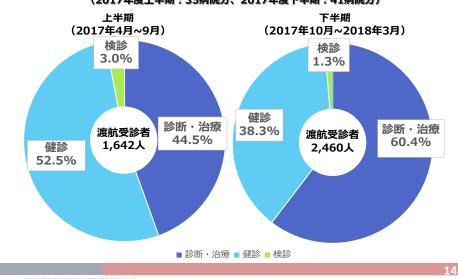
(2017年度上半期:35病院分、2017年度下半期:41病院分)



渡航受診者の受診目的

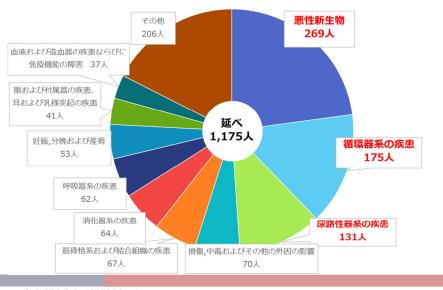
2017年度 上半期・下半期

(2017年度上半期:35病院分、2017年度下半期:41病院分)



受入渡航受診者 疾患別 ICD分類別 上位10項目

(2017年度上半期:27病院回答、2017年度下半期:35病院回答)



JAPAN Hospital Search (JHS)



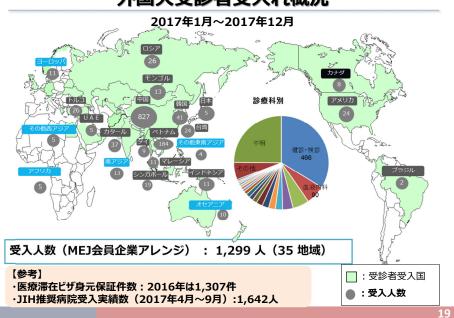
JIH海外向け情報発信(外国人向けサイトリンク掲載)



AMTAC*の認証事業

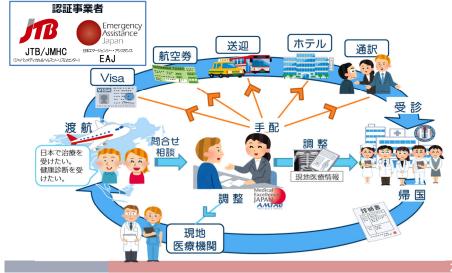
*認証医療渡航支援企業 **AMTAC=Accredited Medical Travel Assistance Company**

外国人受診者受入れ概況



AMTACの認証事業

渡航受診者が安心して円滑に日本で診療を受けることができるよう、受診や渡航に必 要な各種手続きや手配などをワンストップで支援する事業者を認証。



認証医療渡航支援企業(AMTAC)準認証

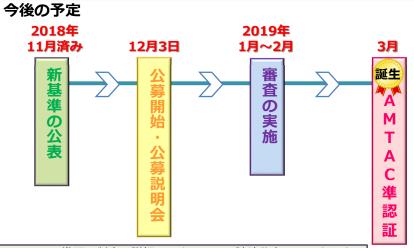
医療インバウンドの促進と健全化のために、AMTAC 2 社という状況の改善を図るべく、「医療渡航支援企業認証等ガイドライン」に基づき、経済産業省「外国人患者の医療渡航促進に向けた医療コーディネート事業者のあり方等に関する研究会」とMEJ「インバウンド委員会」において、認証に準ずる枠組みの検討した。

医療インバウンドの促進と健全化のための、AMTACおよび準認証(仮)に 関するポイントと課題

- 1. AMTAC (現2社) 増を目指す一方で、悪徳業者の排除が必要
 - ①準認証基準(仮)の設置
 - ②AMTAC・JIHの認知度向上
 - ⇒AMTAC認証を取得することにより、活動が促進される仕組みを構築する
- 2. 業務の質の継続改善
 - ①AMTAC認証審査の強化
 - ②MEJ相談窓口の充実(渡航受診者からのフィードバック)
 - ③JIH・AMTAC双方からのフィードバックによる相互改善
 - ⇒登録/更新審査内容の精査、国内セミナー等を活用した周知

21

認証医療渡航支援企業(AMTAC)準認証



AMTAC準認証制度の詳細につきまして、随時公表していきます。 ご関心のある方は、下記までお問い合わせください。 E-Mail:mejinbound@me-jp.org

認証医療渡航支援企業(AMTAC)準認証

AMTAC準認証(仮称)を3年間の限定資格として、AMTAC認証基準から 一部基準(赤字部分)を緩和する。

一即基準	(かナ かり)	で 核 们 9 る。	
項目	基準の背景	準認証基準(案)	(比較)AMTAC認証基準
医療滞在ビザ 身元保証機関	信頼度	経済産業省または観光庁が登録した医	療滞在ビザ身元保証機関
旅行業登録	宿泊・移動手 配	旅行業登録、もしくは旅行業者との 契約に基づく提携関係あり	旅行業登録 (第1種、第2種、又は第3種)
受入実績	信頼度	年間50名(3年以内にAMTAC 認証基準を満たす計画があること)	直近2年間の平均で年間150名 (うち治療目的が120名)以上
医療機関からの 推薦	信頼度	受診者送り込み実績のある 1施設以上のJIHからの推薦	複数のJIHからの推薦
プライバシー マーク	情報保護	プライバシーマークを取得	
顧問医	業務の質	渡航受診者からの相談に備えた顧問契約等の体制整備	
渡航受診者への 説明等	業務の質	トラブル防止のための、渡航受診者に説明する体制・書類整備	
事業計画の策定	業務の質	受入数の見込、社内研修計画等を示すこと	
受入支援業務の 状況の把握	業務の質	受入状況の定期報告を行うこと	
その他事項	業務の質	・訪日前から帰国後のフォローアップ ・サービスの質の向上(医療通訳対応 ・医療渡航支援全般の活性化・高度化	や社員研修等)
			·~> (1)(1)(1)

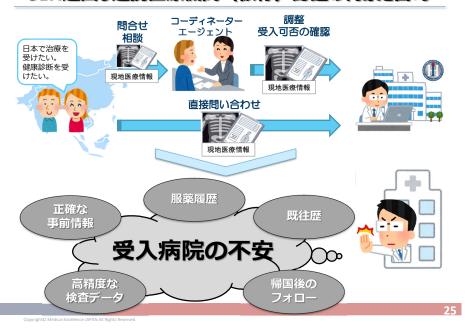
Copyright© Medical Excellence JAPAN All Rights Reserved.

22

渡航受診者受入れに関する 今後の取組み

Copyright© Medical Excellence JAPAN All Rights Rese

JIH送出し連携医療機関(仮称)認証の背景と目的



JIH送出し連携医療機関(仮称)認証の背景と目的

目指す渡航受診者受入れの仕組み

日本に来る渡航患者が安心して受診でき、 日本の医療機関が安心して診療できる体制を整備



(連携基盤)

26

中国の非公立医療機構協会とMOU締結

10月にMEJは、中国の非公立医療機構協会*(CNMIA)と日中医療・介護技術 交流協会(JCMC)の3者間で日中の医療連携に関するMOUを締結。

*非公立医療機構協会は、中国の非公立医療機関(公的資金100%以外の医療機関であり、外資内外の合弁、官民、株式、企業連合、個人などの 形態がある。)を会員とする非営利の協会。



中国の非公立医療機構協会とMOU締結



- ①CNMIA会員医療機関に対して、送出し 認証を実施
- ②送出し認証医療機関とJIHとの診療連携の構築
- ③送出し認証医療機関との医療交流



日本の医療を受けたい患者をJIHに紹介 セカンドオピニオンの依頼 治療後は、元の医療機関に患者紹介



診療連携



医療機関の質の向上に貢献

日本医師を中国派遣し、現地での 教育・研修の実施 中国医師の日本での研修・教育の実施 HO

27

MEJフォーラム

目的・医療の国際展開に関心を持つ医療界の有志を会員とし、 会員間で知識や経験を共有して相互に交流する機会を提供。

・アウトバウンド、インバウンドの両面で世界各国を支援し、 現地国での医療の質の向上に貢献する。

幹事長 相川直樹 (ME)理事、慶應義塾大学 名誉教授)

顧問 今村 聡(日本医師会副会長)

春日雅人(国立国際医療研究センター 名誉総長)

永井良三(自治医科大学 学長)

諮問委員 堺 常雄(日本病院会名誉会長)

諮問委員 澤 芳樹 (大阪大学大学院 医学系研究科 教授)

諮問委員 藤原康弘 (国立がん研究センター 執行役員)

諮問委員 山本修一(国立大学附属病院長会議 常置委員会委員長)

佐野 武(がん研究会有明病院 院長) 幹事

幹 事 島津岳士 (大阪大学大学院 医学研究科 教授)

幹 事 行岡哲男(東京医科大学 常務理事)

MEJフォーラム会員

正会員(32施設)

2018 年10月末現在

国立学校法人 東京大学 東京大学医学部附属病院

学校法人 藤田医科大学病院

国立大学法人 千葉大学 千葉大学医学部附属病院

学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学病院

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院

社会医療法人 緑泉会 米盛病院

医療法人社団 慶友会 吉田病院

社会医療法人 孝仁会 釧路孝仁会記念病院

独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター

学校法人 日本医科大学 日本医科大学 健診医療センター

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

社会医療法人 天神会 古賀病院21

社会医療法人 天神会 新古賀病院

一般社団法人 アジアデンタルフォーラム

学校法人 聖路加国際大学 聖路加国際病院

立正佼成会附属佼成病院

グランソール奈良

伊藤病院

学校法人 東邦大学医療センター大森病院

医療法人 田中泌尿器科医院

地域医療機能推進機構 東京高輪病院

公益財団法人 がん研究会有明病院

社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院

一般社団法人 メディポリス医学研究所

メディポリス国際陽子線治療センター

医療法人社団 翠鳳会 翠鳳第一病院

医療法人社団 鉄祐会

一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

一般社団法人 粒子線治療推進研究会

医療法人 石井会 石井病院

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

国立大学法人 神戸大学医学部附属病院

賛助会員(4施設)

国立大学法人 筑波大学 筑波大学附属病院

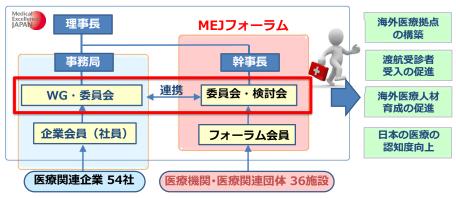
医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

社会医療法人 仁愛会

渡航受診者受入れに関する今後の取組み

日本の医療界、産業界との連携強化



渡航受診者受入れに関する今後の取組み

MEJのインバウンド委員会・分科会で取り上げるテーマ

① 医療渡航 認証関連分科会

② プロモーション分科会

③ 渡航受け入れ課題に関する検討分科会



担当理事と委員長

担当理事: 藤原康弘氏

国立研究開発法人 国立がん研究センター 執行役員

委員長: 武藤真祐氏

医療法人社団 鉄祐会 理事長

インテグリティ・ヘルスケア代表取締役会長



